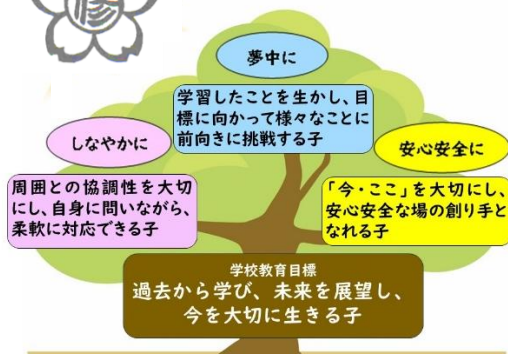




たくさんの「笑顔」「夢」「ありがとう」が集まる学校



令和8年 1月14日
京都市立修学院小学校
校長 鎌田 賢二

校長室だより「こころ」NO.41

なぜ学ぶのか

令和8年の学校教育が始まりました。明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。昨年の2学期終業式と3学期の始業式に子どもたちに「なぜ、学ぶのか」ということについて話をしました。この話の大元は出典がよくわかっていないのですが、ある方に教えてもらった「勉強する意味」から少し子どもたちにわかるように話題を変えて話しました。以下は話したことの抜粋です。話しながら私自身も学ぶことや挑戦することの大切さを改めて感じました。

なぜ、学ばないといけないのでしょうか。例えばここに以前に引いたことがあるおみくじで考えてみます。（このときは「大大吉」と書かれているおみくじの写真を見せました。）

- ・「算数」を学べば、おみくじの番号や大大吉がどれほど珍しいか数字で考えられます。
- ・「理科」を学べば、おみくじの紙が木からつくられていることに気づき、自然とのつながりを感じられます。
- ・「社会」を学べば、おみくじの歴史や神社、お寺の役割、日本の文化の意味がよく見えてきます。
- ・「図工」を学べば、文字のデザインや紙の美しさに気づき、どうつくるのか考えられます。
- ・「道徳」を学べば、おみくじの言葉を前向きにうけとり、心を整えるきっかけにできます。
- ・「国語」を学べば、言葉の力を感じ、言葉の意味をよみとることができるようになります。
- ・「英語」を学べば、おみくじの言葉を、世界中の人に伝えられるようになります。

でももし、何も学ばなかったら、おみくじは「ただの紙切れ」で終わります。

だから学ぶのです。この世界を少しでも心豊かにみることができるように。

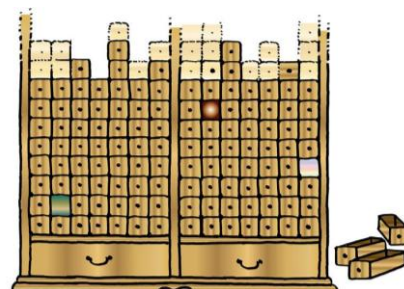
苦手なことや得意なことで見え方は違いますがそれがみんなの力になります。心豊かになると同じ場所でも見方や考え方がかわります。だから、学ぶことを楽しんでくださいね。

話しながら、子どもを取り巻く大人はどうなのだろうとふと思います。色々な人の評価を気にしてしまい本当に大切なことに挑戦できているのでしょうか。当然、挑戦もなければ失敗もないのですが、それは学びにつながっているのでしょうか。

かつて、ウォルトディズニーはこんなことを言っています。

「ディズニーランドは永遠に完成しない。この世界に想像力が残っている限り成長し続ける」

学校教育も子育ても完成はないのかもしれません。とは言っても引き出しの数は必要ですので、学んで想像力を働かせて子どもと共に成長していきたいと思います。



何に挑戦していきたいですか？